

道路

放射2号線は中止を

TBS
「噂の!東京マガジン」

「計画を見直してほしい」(星薬科大学)、「道路に囲まれた地域は燃え尽きる」(コメンテーター)——TBS「噂の!東京マガジン」にて、70年前の道路計画復活に怒りの声が次々と紹介されました。特定整備路線(放射2号線、補助28、29号線)道路計画は白紙撤回しかありません。

放射2号線とは星薬科大学の構内中央を貫通する幅25mの都市計画道路。



星薬科大学にて

日本共産党の小池晃・田村智子・笠井亮各国議員、白石たみお都議、いいぬま雅子・安藤たい作各区議が星薬科大学と懇談、現地調査をしました。

12月17日

羽田

住宅地の低空飛行は危険!



南風時午後3時~7時に品川を1時間あたり合計44機のルート案。国土省は2020年導入を目指す。



中小企業センターにて反対集会

品川の住宅街を低空飛行する新ルート案に反対する住民集会が開かれ「危険極まりない計画だ。中止させるために必要な事は何でもやろう」「ステッカー、のぼり旗の普及、街頭での宣伝もさらに強めよう」と声が大きくあがりました。

12月19日

住民の声 さらさら大きく ストップ

区民に

誇りと愛着を強制

自公提出「おもてなし条例」

自民公明は、区に対する誇りと愛着を持つことやおもてなし活動への参加を強制する「おもてなし条例」を提出。共産党とネットは反対しました。

区への誇りや愛着、特定の活動を条例で義務化することは、憲法が保障する思想・良心・内心の自由を抵触する問題です。

また「おもてなし」とは本来、自発的な活動。「動機や実践を限定するような書き方とは、内面に踏み込みすぎでは」と他党派からも指摘がありました。特定の考え、行動を強制することは許されません。

運動会 過密カリキュラム 学校統廃合

小中一貫校を特別な「義務教育学校」に指定

品川区は区内6校の小中一貫校を「義務教育学校」と名づけ、現行の小中学校とは別に4・3・2の区分による新しい学校とする条例を提出。共産党とネットは反対。自、公、民らの賛成で成立しました。

共産党は1000人を超える大規模校、小中合同運動

会、過密カリキュラム、学校統廃合、教育の機会均等をこわす複雑化など問題を指摘。

「子どもの教育環境の改善というのなら少人数学級の実施こそ」と中止を求めました。



教育改革は子ども中心に

生活相談はお気軽に

日本共産党

南恵子



いいぬま雅子



鈴木ひろ子



なかつか亮



安藤たい作



石田ちひろ



のだて稔史



都議会議員
白石たみお

